

永谷サイダー「巡り」に関するQ&A



Q1：誰が考えたの？なぜこの総合学習を始めたの？

A2：令和3年度の永谷小学校の6年1組です。
道徳の学習で永谷のまちには魅力がないのではと感じていました。「それなら、自分たちで新しい魅力をつくって発信しよう!!」となりました。

Q2：どうしてサイダーを販売したの？

A1：まちの魅力をどのように伝えるか悩みました。ポスターやCMなどいろいろな方法を考えました。横浜にゆかりがあるものを調べると、サイダーを見つけました。クラス目標の6-1限定「みつやサイダー」の思いもあり、オリジナルサイダーを作ろう、となりました。

Q3：学習のゴールは？

A3：「永谷のまちの人に永谷の町の魅力が伝わるようなオリジナルサイダーをまちで販売して、魅力を知ってもらおう!!」



Q4：どうして永谷しか売らないの？

A4：私たちと同じように、永谷の魅力を知らない子どもたち。そして、永谷に初めて住み始めた親世代の人たちは魅力を知らないと思いました。そこでこの地域の方にわかってほしいと思い、永谷での販売にしました。

Q5：地域のことは誰に教えてもらったの？

永谷の歴史のもの知り博士!!



A5：地域のことをよく知っている人として中本さんに話を伺いました。中本さんは、永谷ふるさと村の事務局長です。
永谷の歴史や魅力をたくさん教えてもらえますよ。

Q6：どこの会社と協力したの？

A6：横浜西区でサイダーを製造・販売をしている坪井食品さんです。色々なサイダー会社をお願いしましたが、私たちのチャレンジに賛成してくださったのが坪井食品さんです。日本で一番古いサイダー会社の一つです。横浜でオリヅルサイダーを作っています。ハマスタや、日産スタジアムなどでも飲むことができますよ。

永谷ふるさと村では、永谷の歴史を学び、伝え、保存しています。今回、永谷の昔や歴史(れきし)について知りたいとお声がけがあり、これまでやってきた活動を生かせるチャンスが来たことに感謝しています。児童から、自分たちの住む永谷が、素晴らしいところだと知ってよろこんでもらえたことが、本当にうれしいです。学んだことを大人になっても忘れないよう将来自分たちの住んでいるまちの魅力を後世に伝えていってもらえることを願っています。

